

〈司会〉

加藤 敬太

企業行動·SDGs 委員会企画部会長 積水化学工業代表取締役専務執行役員

企業行動・SDGs 委員長

取り組みの現状 SDGs 達成に向けた

Society 5.0の実現を通じて、SDGSの達成 採択から5年目を迎える節目の年です。 発に重点を置いて活動してきました。 そのなかで、 を目指すことを最重要課題に掲げております の中核的な時期を迎えます。経団連では 2030年のゴールに向けて、 来年はSDGs (持続可能な開発目標) まずはSDGsの理解促進・啓 SDGs推進

要があります。そこで経団連では2017年 戦略にSDGsを積極的に組み入れていく必 業経営のベースとなりますので、企業の経営 決を図る」ことを新たに追加しました。 11月に7年ぶりに企業行動憲章を改定し、第 - 条として、企業がイノベーションを発揮し 持続可能な社会の実現への貢献が今後の企 「持続可能な経済成長と社会的課題の解

機関等との連携強化も図ってきました。 例集を公表したほか、そうした事例のデー 成に資する会員企業各社のイノベーション事 ら整理する際の参考となるよう、SDGs達 また、企業の事業活動をSDGsの観点か -スを掲載した特設サイトも開設L (注:

SDGsをどのように受け止めているのか、 本座談会では、世界および日本の産業界が

> 今後の展望を伺いたいと思います。 取り組みの現状をご紹介いただくとともに、

SDGSの推進状況について、 多数取り上げられていましたが、世界での のようにご覧になっていますか。 TICAD7(第7回アフリカ開発会議)で アフリカにおけるSDGsの取り組みが 大野所長はど

SDGsを『自分ごと』として 取り組む熱意

けないという熱意を感じます。 先進国も自分ごととして取り組まなければい 減に取り組むというODAの世界で完結して 時は、先進国が援助を通じて途上国の貧困削 (ミレニアム開発目標)が国連で採択された当 2001年にSDGsの前身となるMDGs レーヤーとしてかかわり、途上国だけでなく いましたが、SDGsでは、企業が重要なプ であると伺い、 経団連でSDGsの達成が最重要課題 非常に感銘を受けました。

がることであり、地方創生や女性のエンパワ は経団連が提唱するSociety 5.0の実現につな を解決していく方針が示されています。これ 学技術やイノベーションによって日本の課題 され、毎年アクションプランがつくられ、科 - メントが打ち出されているのも心強く感じ 日本では、政府にSDGs推進本部が設置

> 課題が残っています。そう考えると、まだま 師のモチベーションが低いなど、質的な面で えるようになりましたが、水や電気がないた おいても、約9割の子どもたちが小学校に通 口が半減しただけで、アフリカでは約4割の 占める中国やインドが成長したために貧困人 だ途上国でやるべきことはあります。 め衛生環境の悪い所で勉強しなければいけな 1・9ドル未満」で生活しています。教育に かし詳しく見ると、世界人口で大きな比率を 教育の普及は、数値上は達成できました。し MDGSが掲げていた極度の貧困半減と初等 全く違う課題が山積しています。例えば、 人々がいまだに「1人あたりの所得が1日 い、給料などインセンティブの問題もあり教 一方で、途上国を見ると、やはり日本とは

ると指摘しています。 ランスフォーマティブな行動をとる必要があ成できる国はなく、よりダイナミックに、ト 各国それぞれ努力しているものの、現状のペ 発表しています。2019年の報告によれば、 DSN:持続可能な開発ソリューション・ネ で議論されていますが、民間団体(例えばS ースでは2030年までにすべての指標を達 SDGsの進捗状況については国連機関等 ク)もSDGsの各指標の達成度を

どの問題はあり、 加藤 日本国内でも格差拡大や少子高齢化な 、課題先進国、として培って

にも発信していけるものと思います。 きた医療技術など、日本企業の強みは、

方や取り組みの現状について、渡邉副会長と 続いて、 山委員長はどのようにとらえていらっしゃ SDGsに対する企業の受け止め

企業の持続的成長につながる社会課題の解決への取り組みが

受け止め方に大きく影響しています。企業に はいるものの、さらなる浸透を図ることが重 貫性を有するものに整理したことが、企業の 的なとらえ方ではなく、成長戦略との関係性 も経団連も、 おいても、SDGsの認知度が上がってきて を明確に認識し、Society 5.0の取り組みのゴ め方が大きく変わったのは明らかです。政府 の枠組みが提示されたことで、企業の受け止 ルをSDGsに設定するというかたちで一 大野所長が実感されたように、SDGs 国際機関の取り組みという限定

ります」と明言されました。この発言がとて 目標7から12は経済成長を促進するためにあ モハメッド氏は「SDGsの17の目標のうち、 が開催され、私も出席しました。その席上で 副事務総長の来日にあわせ、 も印象に残りましたので、 2017年にアミーナ・J・モハメッド国連 早速社内で議論し、 経団連で懇談会

> 価値創造の中心に据えています。QOL向上視点で「QOL向上への貢献」をグループの SDGs実施指針の優先課題を採り入れなが 「DSR(Dai-ichi's Social Responsibility)憲章」 持続的成長につながっていくことを価値創造 るSDGsの達成、ひいては当社グループの ループはどのように貢献していくのかという をどのように上げるのか、そのために当社グ 民全体の生活の質(QOL:Quality of Life) を策定しました。この中期経営計画では、国 「健康・長寿の達成」などを掲げる政府の を見直すことにしました。そして、その実践 え、第一生命グループの企業行動原則である なる経団連の企業行動憲章の改定などを踏ま SDGsやその達成に向けた企業の道しるべと プロセスとして提示しています。 したうえで、その成果がそれぞれ親和性のあ に各事業がどのように寄与できるかを明確に のために、「あらゆる人々の活躍の推進」や 新たな中期経営計画「CONNECT 2020」

組みやすくなりました。新薬メーカーの事業 と福祉を」が提示されたことで、極めて取り を理解し、また、目標3「すべての人に健康 を見つけて追求するという枠組みであること えるものととらえていましたが、SDGsが 動の一環として、さまざまな社会的要請に応 17の目標のなかから自社に最も合致するもの 当社でも当初は、SDGsをCSR活

> ています。 それを明確に示すことにより、 標3は、われわれの存在意義そのものであり、 開発に携わる者だけでなく、すべての従業員 た新薬で患者さんの病気を治すことは、研究 うシンプルな構造であり、われわれが創製 は、新薬を創出し、それを世界に届けるとい SDGsへの理解も進みやすくなったと思っ のモチベーションの源泉になっています。目 従業員の

ップといったSDGsが掲げるサステナビリ 障のあり方、イノベーションやパートナーシ 題であると同時に、これからの医療、社会保 度と共存できるか、という課題もより顕在化 うリスクの高い事業をどのようにファイナン 直面しています。私たちの抱えている問題、 ティー課題への答えにつながると強く思って しています。これは、製薬企業の継続性の問 スし、持続可能なシステムとして社会保障制 つまり新薬開発の成功確率が3万分の1とい して、医療費の増大と財政規律という課題に 日本は、少子高齢化・人口減少の先進国と

将来に向けて企業を存続させることと切り離 家の見る目も含めて、企業価値やサステナビ リティーを向上させるものであり、要するに まり社会課題の解決に取り組むことは、投資 加藤(そうですね。SDGsに貢献する、 るところです。

してだけでなく、

微生物でエタノールに変換するバイオリファ

技術の実証実験を進めようとしてい

産出したエタノールは燃料と

して、ごみを蒸し焼きにして発生したCOを

究極のケミカルリサイクル技術と

みを徹底させていくことは大事ですが、 デュース、リユース、リサイクル)の取り組

われ

革新的な技術と製品 (Innovation)

図表1 持続可能な開発に向けての化学産業のビジョン

日本の化学産業の強み

環境等の問題解決力 (Solution)

強みを活かして進化

課題対応型産業 (Reactive) から産業の先導役 (Proactive) へ 責任 (Responsibility) から貢献 (Contribution) へ

ビジョン1 化学の力によりイノベーションを創出し、人々の豊かで健やかな生活に貢献します

- 提案解決型の産業としてバリューチェーン全体と連携し、持続可能な社会を実現するための素 材や物質を通したイノベーションを主導します。
- ③ 自らの製造プロセスを絶え間なく改善することにとどまらず、究極の省エネルギー、省資源の 達成と廃棄物ゼロプロセスを目指します。

ビジョン2 世界的な環境・安全問題への取り組みを支援します

境の向上」および「世界のひとびとのくらし

現在はグループビジョンで「地球環

の向上」、すなわちSDGSで提唱されてい

る目標達成に対して、事業を通じて貢献して

いくことを宣言しています。

ここで具体的な取り組みを2つご紹介しま

SDGsの達成はお客様のニーズ

それに応えるために、より

境と経済の両立を目指した環境経営を推進し

当社グループでは、2000年ごろから環

環境・健康・安全を確保して、その内容をス

- クホルダーへ開示してコミュニケーショ

つまりお客様の手元から廃棄に至るまで

すべての製品のライフサイクル段

ンを図っていこうと進めています。

どまらず、

990年に導入して、

- 日本の化学産業の経験を活かし、現地日系企業や現地協会への支援を通して、生産活動におけ る環境・安全を守る取り組みを支援します。
- れ、人々の豊かな生活に貢献するように配慮します。

- 化学物質のリスク情報をバリューチェーン全体に正確に伝え、その正しい使い方を共有します。
- 環境保全や廃棄物低減等、持続可能性に配慮した製品の価値をステークホルダーと共有し、そ れに基づいた製品開発を行います。

て理解を得ることにより、環境・社会・ガバナンスへの投資を促進します。

- ② 政府や大学など、イノベーションを先導するステークホルダーとの連携を密にし、現在実現し ていない革新的なイノベーションや社会全体の変革(超スマート社会等)を伴うイノベーショ

- 新興国に対し、RC の考え方を普及させます。
- 世界中に化学品の安全な管理に関する手法と化学品のリスクを伝え、化学製品が正しく使用さ

ビジョン3 ステークホルダーとの対話を通じて、化学産業による貢献を促進します

- ③ 投資家等との対話を通じて、化学産業の持続可能な開発への貢献と将来の無限の可能性につい

出所:日本化学工業協会

また、企業の社会的責任の中核的な活動とし ために」と題したビジョンを公表しました。

てRC(レスポンシブル・ケア)という概念を

企業活動と密着しているのですね。

産業界全 至体に波及を内の積極発信で

では、私からも、

日本の化学産業の取

製品」のほか、一昨年からは健康寿命や社会 生物多様性保全等に対応する「自然環境貢献

インフラの強靱化、

暮らしの安全等に貢献す

ると考えています。当社ではそうした製品を われわれの成長と発展も支えていくものにな

環境貢献製品」と位置付けて、

気候変動や

そのものであり、

付加価値の高い製品を提供し続けることが、

も企業からさまざまな事業提案をいただくな

て取り組んでいると肌で感じるようになりま かで、SDGSになってからは企業戦略とし

日本化学工業協会では、 組みを簡単に紹介させていただきます。

Gsの経営 ^ の統 合

界で初めて「SBTイニシアチブ」の認証を一環として、2018年6月に世界の化学業

取得できました。

海洋プラスチックごみの問題も、

3 R 1]

イブがかかるだろうと思っています。

品」でのC0∞削減や、防災・インフラ強化 を指標で表し、主に先ほどの「環境貢献製 環境への貢献度合い(自然資本へのリターン)

活動が環境に与える負荷(自然資本の利用)と いう考え方を取り入れていることです。

もう1つは、

「自然資本へのリタ

具体的な企業活動に落とし込んでいる企業は

企業

業局が行った調査によると、 2割に満たないそうです。また、

中小企業の大半

関東経済産

といったことを数値化して、

2030年に自

ことが求められていると思います。

そうですね。

経団連ではSDGsに関

う状況です。パイオニアである皆さんのすば SDGsに関係する行動をとっていないとい はSDGsを知らず、その2%ほどしか

らしい企業活動を、産業界全体に広げていく

然資本の利用を上回るリターンを地球に返し

ていくことを目標としています。その活動の

する事例集を公開するなど啓蒙・発信を進め

から見た企業価値の向上につながることへ

0) Ė

実践に向けた大きなド

ています。

あとは投資家やステークホルダ

くためには、インパクト評価とそれをベーすることが欠かせません。それらを回して 経営・事業活動にSDGsを統合し、具体的 含めてより詳しくお話を伺いたいと思います た企業経営・事業活動のあり方、その実践も 今後の「Society 5.0 for SDGs」の実現に向け 「取り組みの規模拡大」の両面で活動を強化 の整備といった社内における取り組み」と 「経営・事業の戦略・ なアクションに結実させていくうえでは、 今、ご紹介いただいた現状を踏まえて 計画の策定、 実施体制

献という点で、 利用できます。

資源循環型社会の実現への貢

プラスチックの原料にも再

ンを続けていくことがわれわれの使命だと認

ある調査によれば、

9割強の企業のC

実際に

話しいただけますか。 題と感じている点等を含め、渡邉副会長、 の世界経済人会議)が共同で作成したメソッパクト、WBCSD(持続可能な開発のため Reporting Initiative)、国連グローバル・コン 引き」を作成し、そのなかでGRI(Global 参考となるように、「企業行動憲章実行の手 営へのSDGsの統合において、経営トップ企業行動憲章でも指摘しているとおり、経 題と感じている点等を含め、渡邉副会長、おように進めていらっしゃるか、そのなかで課 の役割は非常に重要です。経団連も、 にした市場からの適切な評価が必要です。 それでは、企業各社は経営への統合をどの 企業行動憲章でも指摘しているとおり、 「SDGコンパス」を紹介しています。 各社の

付加価値を届けるために

意識せずとも、当社グル 献」を据えることで、 中期経営計画の中心に「QOL向上への貢 通じてこれらの重要課題の解決に貢献する取 動との関連度などを踏まえて11の重要課題を ついてですが、SDGsから独自に導出・分 組みを中期経営計画において策定しました した社会課題から、当社グループの事業活 当社グループにおける経営への統合に QOL向上につながる事業活動を SDGs との関連性を ープの社員の理解を

月刊 経団連 2019:11

単なる法令遵守にと

「化学産業が持続可能な開発に貢献していく

アフリカにおいて14年間で60万人が失明を免 いう駆虫薬があります。 大村智北里大学名誉教授のイベルメクチンと ところが、 業としてのノウハウを提供し、 年かかるため、 知識不足でした。また、創薬ビジネスは新薬 に投資銀行が最も心配したのは医学に関する 投資銀行とファンドを組みましたが、その際 資家はサイエンスをよく理解しており、 医療費の負担増大の問題に直面しています。 度をクリア 行にリスクを取っていただき、 としてリスクが取りにくい初期段階は投資銀 の敬遠要因にもなります。そこで、 の種ができてから市場に出るまでに10年、 うな投資家が育っていません。私どももある の投資手法を駆使しながらうまくマネジメン った取り組みも行っています。 日本は世界に先駆けて超高齢社会を迎え、 していますが、 した時点で、当社が引き取るとい 長期間にわたる投資が投資家 残念ながら日本にはそのよ 一定の評価尺 当社が製薬企 製薬企業 多数

のが現状です。 である米国に先進的な医薬品が集中している ため、その価値を的確に評価し、市場も最大 新薬はグローバルに評価を受ける

医薬品の価値の評価データは少ないのです 1つの例としてノーベル賞を受賞された 4000万人が感染症にかからずに済み この薬剤のおかげで、

に落としていくことが重要だと考えています。 そして、 当社グループが取り組むQOL向

域・社会の持続性確保」への貢献も重視して 命の延伸」「資産寿命の延伸」さらには「地 SDGsに重ね合わせながら具体的な取り組み 人々の「生活の安定」はもちろん、「健康寿 上への貢献に向けては、生命保険を通じた

はSDGsの要素を分解し、 社会課題の解決 DEVELOPMENT GOALS 生活の安定 (保障) ありたい人生の 個々のゴ 健康寿命の延伸 資産寿命の延伸 ーールを 地域・社会の持続性確保 (つながり・絆)

出所:第一生命ホールディングス

の貢献を有機的に関連させながら広 当社グループはこの4 人生の実現」に向けて不可欠であり 業の枠を超え、この4つの領域で

つまり「CONNECT」と

第一生命グループが取り組むQOL向上への貢献

カスしました。

的確な価値評価

医薬品産業の課題は

中山

目標3

が、これらは人々の「ありたい

の会社ではいかがでしょうか

ありがとうございました。

QOLのあり方はさまざま

を可能としたり、 ます。また、 貢献する取り組みを一緒に行ってい しながら、 括連携協定を含め、 です。そこで、当社グループでは包 ると考えています。そのためには、 総合的な付加価値をお届けしてい げていくことで、QOL向上という てと協定を締結し、 ダーと協働して取り組むことが重要 う概念でさまざまなステークホル

QOL向上やSDGsに

地域社会に根差 47都道府県すべ

ヘルスケア分野におい

これらの好事例を社内で発表する場も設けて るなどの取り組みを行っています。そして、 して、認知症の予防ができるアプリを開発す な影響を及ぼす疾患に関する正確な情報提供 センターと包括連携協定を結び、健康に重大 長寿医療研究センターなど6つのナショナル ては、国立がん研究センター スター トアップ企業と協働 -や国立

図表3 持続可能な社会の実現に向けた第一三共グループの取り組み

ない状況下で、 に測定できてい させたかを正確 をどれだけ改善 ションが世の中 的に価値を評価 このように具体

残念ながら、

できることは少

ベー

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GAL 世界を変えるための 1 7 の目標

というアンバラ 向に評価される ばかりが負の方 医薬品のコスト



このことができ

スを評価するこ

価値とコストと

起きています。





























6 安全な水と を世界中に

Ų

CO





につながりまし

すべての人に 健康と福祉を

当社グループは、「がん」をは じめとする NCDs (非感染性疾

患)、希少疾患、マラリア、結

核、NTDs (顧みられない熱帯

病) などのアンメットメディカ

ルニーズの解決に取り組むこと

で貢献していきます。

人分の食料生産

が減少した結果

当社グループは、医薬品の研 究開発や医療へのアクセス制限 の課題に対し、産学官民を含む 多様なパートナーシップを通じ て取り組みます。

出所:第一三共

であり投資家を背負っていますので、 公募し、そのサポートを行うことにも取り組 ネス上のノウハウ不足に悩んでおり、 者の方は事業化のための資金、あるいはビジ 依存しています。 はライフサイエンスの進歩にほぼ100% 開発のリスクと価値の評価です。新薬の開発 すが、これは経営幹部の言葉よりよほど心に 床現場の患者さんの話をしていただいていま 意義ですので、従業員にも腹落ちしやすいも んでいます。とはいえ、製薬企業も民間企業 は、日本や欧州の大学から新薬のアイデアを が経営として最も注力している課題は、研究 響くものであり、 のです。たとえば、研究開発に一緒に取り組 にも高いリスクに持続的に投資することは困 んでいる医療従事者の方から当社従業員に臨 べての人に健康と福祉を」が当社事業の存在 いることの正しさ、大切さをよく理解します。 ただ、持続可能性を求めるうえでわれわれ 先ほど申しあげたとおり、 一方で、 従業員も自分が取り組んで アカデミアの研究 当社で あまり

-0









3 すべての人に 健康と福祉を



















₫

気候変動

当社グループは、すべての事 業活動における環境負荷と環境 リスクの低減、資源の有効活用 などに取り組むことで持続可能 な社会の実現を推進します。

当社グループは、イノベーシ

ョンを生み出す人材育成と組織

づくりを推進し、企業理念の

「革新的医薬品の継続的創出」の

実現を通じて貢献していきます。

山委員長

世の中の役に立つだろうという事業へも投資

SDGs の目標3「すべての人に健康と福祉 を」は当社事業の存在意義そのものである ことを明確にすることで、従業員の SDGs への理解も進みやすくなった。創薬開発の コストとリスク、価値評価とファイナンス、 社会保障制度との共存等の経営課題は、製 薬企業の継続性と同時にこれからの医療、 社会保障のあり方、さらには SDGs が掲 げるその他のサステナビリティー課題への 答えにつながると考える。創薬を取り巻く エコシステムには科学リテラシーの高いべ ンチャー投資家が必要であり、国内外問わ ず、グローバルに形成すべき。(中山譲治)

「Climate Action 100+」への参画や「RE100」 RI(国連責任投資原則)への署名もGPIF はないにしても、 の立場から、 とほぼ同時期に行ったほか、最近では、 くてはいけない立場にあります。そこで、P していくことにしています。 の加盟など、機関投資家・保険事業者双方 より一層気候変動の分野で貢献 同じようなレベルで考えな

当社グループは、GPIFほどの規模で

る活動を展開しています。 ン策定に取り組むなど、ESG投資を推進す え方の取りまとめ、ESG投資のガイドライ 促進や、 を実現するためのスチュワー 同様に、生命保険協会も、持続可能な社会 集団的エンゲージメントに関する考 -ドシップ活動の

がなくても、成長余力があり、明らかに将来 最優先の戦略課題としてグループ全体で推進 事業独自のイノベーションを創出する取り組 発のベンチャーも育成しています。当社グル ンチャ 投資しています。インパクト投資も含め、 投資手法であるインパクト投資にも積極的に 得と社会的インパクト創出の両立を意図した を推進しており、 ESG投資の一環としてSDGS債への投資 たとえ私どもの事業ドメインとは直接の関係 みを「InsTech®(インステック)」と銘打ち、 ノロジー(Technology)の両面から生命保険 であるスパイバー社やチャレナジー社などに 取り組んでおり、著名なスタートアップ企業 1300億円に達します。また、運用収益獲 -プでは、保険ビジネス(Insurance)とテク なお、当社グループは、第一生命を中心に 企業に400億円規模の投資を実施 大学との連携関係を活かして大学 投資金額はおよそ QOL向上のためには、

規模拡大のための イノベーション

げる意味でも価値がある。 (渡邉光一郎) とを強く感じました。 通じた貢献に大きな期待が寄せられているこ が多く聞かれました。企業に対して、 達成するには、 係者からは、「2030年までにSDGsを 遣しました。その際に現地で懇談した国連関 CとニューヨークにSDGsミッションを派 的な技術などを活用したイノベーション」を い取り組みを創出する必要がある」との指摘 トランスフォーマティブでインパクトの大き 10日から17日にかけて、米国のワシントンD**加藤** 企業行動・SDGs委員会では、7月 トナーシップによる「資金供給」と「革新 企業行動・SDGS委員会では、 エコシステムの変革や、 官民パ

Society 5.0 のゴールに SDGs を設定し、

成長戦略と一貫性を持たせたことで企業の

受け止め方は大きく変わった。当社も中期

経営計画「CONNECT2020」において、

SDGs と親和性のある「QOL 向上への貢

献」を戦略の中心に据え、取り組んでいる。

また、ESG 投資としてのインパクト投資

を行い、産学連携や資金提供の課題を解決 し、スタートアップ企業の育成を目指して

いる。「三方よし」に始まる日本企業の経

営は「Society 5.0 for SDGs」と親和性 が高く、多様な業界との CONNECT を広

渡邉副会長から、 Society 5.0を通じてSDGsの達成を目指す G投資等の状況も踏まえたお考えをお聞かせ 京大学との共同研究を開始したところです。 企業への資金の流れを創出するために、GP ·F(年金積立金管理運用独立行政法人)・東 ベーション」がキーとなりますが、まずは 取り組みの規模拡大には、「資金」と「イ これに関連して、経団連では今年6月から 昨今急速に伸びているES

SG(環境・社会・ガバナンス)経営も仕事そ 組むとなるとなかなか前に進まないので、 た連携が必要です。また、運動論として取り

献しているという認識が必要です。

のものととらえ、

本業を通じてSDGsに貢

ができるはずです。

いですから、オープンイノベーションも含め

SDGSへの貢献は一社単独では難し

めにもっと積極的に投資しようといった判断

産学連携や資金提供の 課題解決に貢献 ESG投資を通じて

としても、 決に貢献していきたいと考えています。 能していないことなどがあると思います。私 学連携の問題や資金提供の仕組みがうまく機 的な取り組みがあるものの、実際は、なかな が非常に高いうえ、大学にはスター ップを越えられず、社会で実用化できていな か、死の谷、すなわち研究開発と事業化のギャ いのではないでしょうか。この要因には、産 日本は大学も企業も基礎研究のレベ ESG投資を通じて、生命保険業界 個社としても、こうした課題の解 トアップのレベル

投資委員会の設置など社内体制の整備を図り としてどう運用するかという立場にもいます。 生命単体でも3兆円を超す資産を機関投資家 を持つ一方で、グループ全体で50兆円、第一 株式の発行体としてさまざまな投資家と接点 したがって、私どもも取組方針の策定や責任 ての側面に加え、機関投資家の立場がありま す。特に、株式会社である当社グループは、 GPIFは、その運用規模の大きさから、 生命保険各社は、いわゆる保険事業者とし ESG投資を進めています。

視点で考えることが重要だといわれています ユニバーサル・オー ナーとしてESG投資の

事例を積極的に紹介していくと、ESG投資 行っているので、産学連携をはじめとする好 当社グループだけでなく経団連会員企業にお 投資額は小さくても、 を育てて大企業になったケースもあります。 などへの認識が広がり、 すが、歴史をたどれば、スター いても個別にスタートアップ企業への投資を インパクトになれば、非常に良いと思います。 [^]死の谷、を越えられる 大きなうねりになる トアップ企業

業界連携の事例などもご紹介ください。 組みに加えて、 まざまな企業や大学とつながることができれ の医療・ヘルスケア分野における自社の取り た。それでは、中山委員長には、グローバル より面白くなるのではないかと思いまし 規模の拡大というところで、

エコシステムへの期待

例えば、 体として効率的に進めようという動きが始ま 社が出し合い、共同利用することによって全 の企業の極秘分野でしたが、この化合物を各 を下げるかという観点で取り組んでいます。 ある業界なので、いかに開発段階でのリスク 中山 医薬品産業はイノベーションが核心に バンク)に関する取り組みです。 ケミカルバンク(新薬候補化合物の 元来、 個々

加藤 お話を伺い、ESG投資の分野でもさ はずです。 創薬をめぐるグローバルな



SDGs 達成のため社会課題の解決に取り組む ことは、投資家も含めて企業価値やサステナ ビリティーを向上させ、将来に向けて企業を存 続させることにもつながる。 経団連では SDGs に関する事例集を公開しているが、そういった 企業の取り組みが投資家やステークホルダー から見た企業価値の向上につながると認知さ れれば大きなドライブがかかるだろう。イン パクト評価についてはまだ基準となる評価の 方法がなく、当社では環境貢献に対する貢献 度と収益インパクトを明確に打ち出すことを 重要と考えているが、各社にとって評価方法

は今後も残る課題といえる。 (加藤敬太)

企業からのさまざまな事業提案を通 して、経営戦略としての取り組みを 実感している。今後、先進事例を産 業界全体に広げてほしい。 JICA で は、現地ネットワークを活かし、途 上国の課題を企業に具体的に提示 し、企業とのマッチングを図る仕組 みを整備するなど、エコシステム形 成に向けて積極的に取り組みを進め ている。日本がすでに持つ「三方よ し」の精神をさらに広げて、「地球よ し」「未来よし」という視点を持ち続 けなくてはならない。

流の投資家が明確なメッセージを出しており の理由としては、ESGという概念を導入す にうたわれたことが挙げられます。もう1つ てきていることを認識しました。機関投資家 世界中で投資家側の考えがはっきりと変わっ 関投資家に資金提供しているGPIF等の上 が明確になった点にあると思います。 ることで、 として、SDGsで医療分野の重要性が明確 いう考えに変わっています。その1つの背景 えることを重視してくれる投資家を探そうと もありましたが、今は自分たちが大切だと考 以前は投資家が何を望んでいるのかがわ 短期の利益を出すべきなのか、 リターンや配当が高ければよいの いわゆる上場企業がやるべきこと

ていますが、残念ながら日本には科学リテラ うプロセスがあります。日本もそれを目指し 収されるか、そのまま上場企業になるかとい ジェル投資を受けて成長した後、大企業に買 ては、米国では、大学発のベンチャーがエンまた、創薬を取り巻くエコシステムについ シーの高いベンチャー投資家が少ないので、 が重要になってきました。

者が減少しました。ベトナムの経済成長につ

ようになりました。この結果、

風疹などの患

子どもたちに自国製のワクチンを投与できる 術提供を行ったところ、昨年からベトナムの 業としてベトナムにワクチン製造のための技

事業の展開にもプラスになると考えています ながるだけでなく、将来的には日本の医薬品 するだけでなく、

JICA (国際協力機構)との共同事

技術輸出も行っています。 開発途上国に医薬品を提供

このほかにも、

っています。

材が豊富であることや医療分野はグローバル ないかと感じています。むしろ、 日本のエコシステムはかなり効果を発揮でき であることを踏まえ、日米連合を組めれば、 い科学リテラシーと多くのノウハウを持つ人ないかと感じています。むしろ、米国には高

健文化賞をいただくことができました。

このJICAとの取り組みは、第一生命の

日本の得意分野です。そのアイデアのもとと 加藤 ありがとうございます。 ると考えています。 に現地でのプロジェクトを進めていく視点か のは、今後の課題になってくると思います。 て、そのファンドに出資したうえで、社内に なる米国のベンチャーなどにアンテナを張っ はそうですが、アイデアを製品化する部分は おける事業のエコシステムに取り込むという 大野所長は、 JICAの活動のなかで実際 特に化学産業

日指す世界の実現への貢献〜企業連携のもとSDGsが

らどのようにご覧になっていますか。

SGの観点からよりわかりやすく伝えること

の姿勢も変化しており、われわれの事業をE

なので、 ます。今や実際に途上国に流れる資金のうち、 貢献と自負していますが、それでも今までの 7割程度は直接投資など民間企業からの資金 ODAなどの公的資金は本当にごく一部で、 やり方を変えなければ、という気持ちがあり JICAの仕事は途上国の開発のため 本業そのものがSDGsへの最大の

けて、アフリカの現地課題を学ぶスタディー 療用機器のニーズに関する情報発信や企業向 ます。例えば、保健衛生分野であれば遠隔診 る仕組みを積極的に整備していく必要があり 業のアイデアやノウハウとのマッチングを図 途上国の課題を企業に具体的に提示して、企 私たちは現地で肌で感じています。こうした 金や情報提供などのお手伝いをしています。 ネスプランをつくるうえで初期段階の調査資 まさにESG投資になります。 たちの活動をサポートしていただくことは、 行っています。これら債券の購入を通じて私 ツアーの実施やTICAD債の発行を行いま けセミナー・相談会の開催などに取り組んで 教育の質、農業、栄養などさまざまな問題を A債を発行して国際協力事業への資金調達を した。ちなみに、JICAは以前からJIC 途上国の人たちが直面している保健衛生、 特に日本の中小企業は、言葉の壁や情報の 今年はTICAD7開催に関連付

するにはさまざまな工夫を凝らす必要がある 相談への対応にも努めています。 問題で海外とのネットワーク形成に取り組み 企業とのオープンイノベーションを推進 JICAの国内拠点では、 さらに言え

> めています。 エコシステム構築に向けた取り組みの1 -ク」で、 JICA関西が近畿経済産 情報発信に努

加藤 途上国の課題をわれわれ企業にとって をパイロット拠点とし、青年海外協力隊の5 これまでJICAが支援してきた現地の病院 生・環境に配慮した商品を製造・販売する大 促進の場を設定するなど、エコシステム形成 ン活動と相乗効果を出すなど協力しました。 S(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ)カイゼ のアルコール消毒剤の普及に取り組んだ時も 阪のサラヤが、ウガンダで感染症予防のため ガルでは、カゴメがトマト栽培を手がける際 いただく方法もありますので、皆さんの連携 や青年海外協力隊などのネットワークを活用 JICAの事務所が協力しました。また、衛 に、農業分野のプロジェクトを実施してきた に貢献したいと思っています。例えば、セネ 海外では、JICAの拠点に加え、NGO をキャラバンで巡ったりして、 紹介するセミナーを実施したり、関西の府県 業局、関西広域連合等と共同で運営していま す。そこでは、企業のグッドプラクティスを や手続きを変えていかねばなりません。 分科会である「関西SDGs貢献ビジネスネ が「関西SDGsプラットフォーム」とその

に民間連携事業を始め、関心ある企業がビジ

力することが重要です。

JICAでは20

年ごろからBOPビジネス調査を皮切り

はSDGsに合致するよう具体化に向けて協

が持つ途上国とのネットワークを使いながら

そのためには、海外拠点をはじめJICA

企業が提案する事業を途上国のニーズあるい

のチャンスに変換できるような仕組み、そし

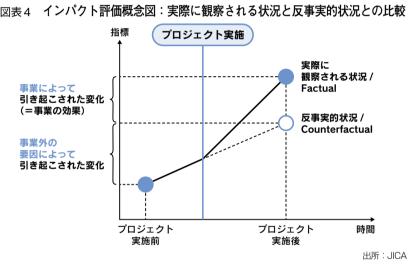
のではないかと期待します をうまく融合できると、 取り組みが 一層進む

インパクト り方をめぐって -評価の

指す動き

and Investment Standards)の指標は非財務の 報告項目として参考になると思います。 ご所見をお聞かせいただけますでしょうか。 評価方法がなく、 者から相次いで指摘があったのは、 国連グローバル での国内外の情勢について、まず大野所長の スタンダードとして最適か判然としないなか 手法が乱立しています。どれがグローバル を回すためにも重要ですが、まだ基準となる よび投資家からの評価でした。その取り組み と進めるために、 これらに対応していくために必要な取り組 各社にとっては大きな課題です。 例えば評価の尺度や評価方法という部分 SDGsの取り組みをある程度きちん 組みの効果(インパクト)の評価、 ・コンパクト、 IRIS (Impact Reporting 民間機関によるさまざまな 先般のミッションでも関係 G R 進捗の開 お

> 品目で、 少なくありません。 治能力が弱く、 クト評価の方法や指標の確立を目指す動きも 分であるなど、 ムオイル、 ます。そもそも多くの途上国は政府の統 公的か民間かを問わず、 綿花をはじめとするさまざまな 環境社会面の基準・規制が不 あっても守られない場合が その結果、 天然ゴム、 生産にかか



ながっている面もあるかもしれません。 る標準や認証が生み出され、指標の乱立に

議論が始まっています。 金融機関の取り組みから学んでいきたいと考 月に策定しました。JICAもそうした国際 投資するときに重視すべきESGの要件を示 まって、 行政、シンクタンクやNGO、研究者等が集 が設立され、資金提供者、事業者、 組みが徐々に増えてきています。 した「インパクト投資の運用原則」を今年4 FC(国際金融公社)は、 上国で活動する民間企業に資金提供を行うI 国内でも、 ほかにも、 8月26日にこの運用原則に署名しました。 「社会的インパクト評価イニシアチブ」 日本でのガイドライン策定に向けた 社会的なインパクト評価の取り 世界銀行グループの一員で、 民間企業が途上国に 20 ビジネス

支援において評価の面での協力も模索してい 業のSDGS関連事業や中小企業の海外展開 ます。企業が提案するパイロット事業でベー を推奨しています。 スライン調査を実施し、 てさまざまな評価手法を実践しています。こ JICAは、かねてからODA事業におい した知見を活かし、 JICAが協力する企 効果を測定すること

ごみのポイ捨てや屋外排泄など、 んだ「絵本読み聞かせインパクト評価」です。 講談社とともにインドで取り組

的な評価を推進していくことも検討したいと とが実施の前提となります。 間・手間がかかるので、 における効果の差を比較分析しました。その を使ってインパクト評価を実施し、 る絵本を試作し、 面に関する母親や子どもたちの意識を変える 考えています。 かかる条件が整い、 ただし、こうした評価には相応の費用や時 行動につながっていることが証明されました。 せを行ったパイロット30校とそうでない30校 たところ、 CAは講談社と連携して、 読み聞かせが子どもたちの環境保全の 企業情報にかかわるので、 「もったいないばあさん」が登場す 即座に効果が出ました。そこで、 JICAとしては、 小学校で読み聞かせを行っ 企業の同意が得られるこ 簡単にはできません。 前提付きにはな 専門的な手法 こうした本格 情報開示に 読み聞か

明確に打ち出すことが重要環境貢献度と収益インパクト

り組みとして、 ち出すことが重要と考えており、 に対する貢献度と収益インパクトを明確に打 員への浸透という意味でも、 推進のドライブをかけるため、 その観点では、当社も環境貢献 にかかわる情報を開示してい 「環境貢献製品」と「自 定量化というの 具体的な取 また社

さんからの評価も高まると考えています。 にもつながることに加え、投資家や学生の皆 売上に対する「環境貢献製品」の売上比率を 評価をいただいて、順次登録しているところ としてわかりやすく、 ていくことが、すなわち社会貢献による成長 2018年度)しており、その比率が上がっ わかりやすく開示(全売上比率56・3% ですが、その売上目標も開示しています。 「環境貢献製品」は外部の有識者に客観的な 社員の働きが いの向上

負荷をかけているか、そのリターンがどれだ 生産プロセスにおける負荷低減と連動してリ 「環境貢献製品」による貢献なので、 企業活動のすべてが環境に対してどれぐらい を目標にしています。生産プロセスを含めた 資本を使ってそれ以上に社会に還元すること れの企業姿勢を確認していただけると考えて けあるかを社会に示していくことで、 ます。今100に対して92ぐらいまでリタ また、「自然資本リターン率」では、 ーン率の定量的な数値が上がっていくこと ンができています。ただ、そのうちの9が 社員の腹落ちにつながると思います。 やはり われわ 自然

れがどの程度備えているか、 を表明しました。気候変動のリスクにわれ 関連財務情報開示タスクフォース)への賛同 当社は今年1月にTCFD(気候

> 出などは、こうした定量化でわかりやす Corporations in the World index)企業への選 100 | (2019 Global 100 Most Sustainable 家を含めたステークホルダーとの継続的な対 た取り組みの一環として行っており、 ることが大事であると思います。 組みが評価されたものと考えています。 ニシアチブの認証取得や 長期を見据えた経営基盤の構築に向け [2019 Global これは投資 S B T い取

ると思います。 しばらくはベストプラクティスやわかりやす 指標に関する動向などを注視する必要があ どのように評価するかは今後も課題ですが

きな価値創造を達成する財務価値の加味が 本企業による

最近になって、 益率)至上主義的といわれてきたのですが、 ルチステークホルダー型の経営の視点を加え すでに日本に多くあると思います。 ROESGを提唱する学識者もおられるよう の見直しを宣言した事例の報道がありました とする動きも出ています。そうした土壌は 従来の財務指標から非財務価値も認めよ 「価値協創ガイダンス」も、 従来、 ガバナンス体系を描いています 米国企業はROE(株主資本利 マルチステークホルダー型 いわゆるマ 経済産業

18



いと思っています。 仕組みや社会のあり方を考えなければいけな

と思います。 に意識されなければ、個々の事業を持続可能 課題の背景にあたるものが、この目標と同時 なかたちで実現することは不可能ではないか うしたシステムやプラットフォームといった 社会全体の仕組みが必要であり、 タンザニアにおいて医療人材の育成に取り組 んでいますが、このような取り組みを支える ノウハウが非常に活きてくると思います。そ 例えばCSR活動の一環として、 J I C A

家から見ても、日本の企業の活動がグローバ みには、 彼らはアフリカの地域情勢や抱える課題、 献を目指し活動を行っています。この取り組 研究開発を支援するGHITファンド(グロ して、 ルレベルに上がるのではないかという印象を ルなグループとうまく連携することで、 ンパクト評価手法などのポイントをよくわか メリンダ・ゲイツ財団等も参画しています。 物も提供することによって、より総合的な貢 のみならず、 ·バルヘルス技術振興基金)を設立し、 日本国内では、 顧みられない熱帯病等の治療薬などの 日本政府、 ノウハウを持っているグロ 製薬企業が持つノウハウや化合 国と製薬企業等が共同出資 海外の製薬企業やビル& 資金 投資

> 非財務のKPIとトー になってきています。当社でも財務のKPI が非財務価値を加味していくと、実はすでに た評価体系を付加していく、つまり日本企業 めていこうという考え方にだんだん変わって がよいのではないかと思います。 でもこのような視点を持って活動していく方 せん。そういう意味では、ぜひ経団連の部会 大きな価値創造を達成しているのかもしれま したがって、加藤部会長からご指摘いただい 一、そして企業価値が切り離せない状況 そうですね。SDGsとサステナビリ タルでESG経営を進

渡邉 だと思います。 しやすくなってきており、 今の世界の流れがこれらの方向を受容 非常に重要な視点

きています。

だけますでしょうか。 に本日の討論のまとめとして、 ありがとうございました。 一言ずついた では、

流れを変える先導役に 本は世界全体

営理念を持っている企業が非常に多い 渡邉 日本には「三方よし」の流れをくむ経 世界の中でも優れた経営手法の1つだと Society 5.0 for SDGsと極めて親和性が高 SDGsとベクトルを合わせたお 非財務の両方を見ながらの経営 いわけで

> じゴールに向かっていこうという共通認識が 消費者団体の方々とも相反関係ではなく、同 持てたような気がします。 かげで、例えば、 日本国内の消費者の方々、

を日本が担う、といった気概をもって取り組 な視点から、世界全体の流れを変える先導役 とも親和性を持つことができる可能性があり 本国内だけではなく、米国や欧州の企業など ることができたと感じています。さらに、日 クトルによって、多様な業界との協働を広げ やすいベクトルになってきています。このベ なっているなど、産学連携に非常に取り組み 向性がSociety 5.0 for SDGsを志向した内容と んでいった方がよいのではないかと思います。 大学改革の検討においても、その改革の方 したがって、 従来のROE至上主義的

より総合的な貢献につながる 政府・企業のグローバルな連携が

会全体でどう持続していくのか、 より多くの人たちを救うというサイクルを社 はなく、新しい医薬品を継続的に生み出し、 います。 で、今度はそれを支えるシステムを考えなけ 的取り組みやすいと感じています。そのうえ 目標そのものが事業の中核にあるので、 ればならない段階に入ったのではないかと思 ヘルスケア産業の場合は、 医療産業の将来という狭義の意味で SDGsの 比較

「地球よし」「未来よし」へ 日本の「三方よし」精神か

だとつくづく感じました。 役に立てるような仕組みづくりが極めて重要 大野 お話を伺い、日本企業のSDGs実践 が拡大していくなか、JICAがより一層お

はならないと思います。 来よし」という視点も加えて持ち続けなくて よし」精神をさらに広げて、「地球よし」「未 というケースも増えています。日本の「三方 上国あるいは政府の統治能力に課題がある国 な展開がこれだけ進むと、展開先が貧しい途 が高いです。同時に、企業活動のグローバル に役立つ製品づくりに取り組もうという意識 また、渡邉副会長がおっしゃっていたよう 「三方よし」を自然に考えていて、 日本の企業は中小企業を含め 社会

通常の中期計画の約3回分にあたる10年後に と非財務のKPIをきっちりと打ち出して、 業価値向上がSDGsと切り離せなくなって 多くなっています。そうはいっても、 ありたい姿からバックキャストして、 きているというのが実情です。 企業の存続、発展、サステナビリティーと企 今、世の中の不確実性や地政学的リス 中期計画でも予測が当たらないことが そして次の中期計画に対する 当社では財務 中期計 やはり

> ています。 仕込みの目安を決めて、 進めていこうと思っ

践を後押しする活動を展開していく所存です SDGsというものの実現に向けて、各社の実 た。経団連では、引き続きSociety 5.0 for 本日は貴重なお話をありがとうございまし 今後ともご指導いただければ幸いです。 (2019年8月30日 東京會舘にて)

化(インパクト)を精緻に測定する評価手法。通常、(注3)インパクト評価:事業が対象社会にもたらした変に整合した目標(SBT)であることが認定される

状況/Counterfactual)とを比較することが必要業が実施されていなかった場合の状況(反事実的するためには、事業が実施された状況と、仮に事業の対別は事業の効果は事業以外の要因にも影響を受けると

(注4)SDGコンパス:①SDGsを経営に、②優先順位の決定、③目標の設定、④経営トップ・協働、⑤報告とコミュニケーションの実施と携・協働、⑤報告とコミュニケーションの実施と携・協働、⑤報告とコミュニケーションの実施という5つのステップを通じて、SDGsを経営にいう5つの実施という5つのステップを通じて、SDGsを経営にいう5つの実施という5つのステップを通じて、SDGsを経営にいう5つの実施という5つの表示に対する理解促進、 組み込む支援ツ

シアティブ 生可能エネルギーにすることを目指す国際的イニ生可能エネルギーにすることを目指す国際的イニ (注5)Climate Action 100+:PRIと 排出量が多い企業に対し、R 排出量が多い企業に対し、R 、TCFDに沿った開示イニシアティブ。GHGFRIと4つの投資家団